

**平成 2 6 年度**  
**鴨川市社会教育委員会議 会議録**

**平成 2 6 年 6 月 2 5 日（水） 午後 1 時 3 0 分開会**

**鴨川市天津小湊支所 3 階 会議室**

**鴨川市教育委員会 生涯学習課**

## **平成 26 年度 鴨川市社会教育委員会議 会議録**

**1・日 時** 平成 26 年 6 月 25 日（水）開会：午後 1 時 30 分 閉会：午後 3 時 51 分

**2・場 所** 天津小湊支所 3 階 会議室

**3・出席者** 次のとおり

【委 員】長谷川治夫委員、渡邊隆委員、鈴木朝雄委員、仲澤博委員、  
石坂純一郎委員、安田耕太委員、立野慶子委員

※欠席（繁田進委員、辰野利文委員、長谷川清美委員）

※途中退席（渡邊隆委員、石坂純一郎委員）

【事務局】野田教育長、蒔苗教育次長、石井課長、川名課長補佐、  
高橋社会教育主事、田中青少年係長、鈴木社会教育係長、近藤主査、  
石川主査、洲永主査、四宮主査、滝口社会教育指導員

**4・傍聴人** なし

### **●委嘱状の交付**

新任委員（2 名）へ。野田教育長から交付。石井課長にて委嘱状の読み上げ。

※市内校長会会長及び鴨川市公立学校 PTA 連絡協議会会長の職に交替があったため。

### **1・開会**

鴨川市社会教育委員会議運営規則第 6 条の規定に基づき、会議の成立報告。

### **2・教育長挨拶**

野田教育長

### **3・議長挨拶**

安田議長

### **4・報告**

#### **●報告 1：平成 25 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業報告について**

（安田議長）

それでは、着席したままでお許しをいただきますが、ただ今から議長を務めさせていただきます。まずは、議長を務めさせていただくに当たりまして、最初に、議事録の署名人をお願いしたいと思います。私からの指名ということによろしいでしょうか。

### **『異議なし』の声**

**(安田議長)**

では、ご異議がないようでございますので、鈴木委員よろしく申し上げます。

それでは、4の報告から参りたいと思います。

報告1、平成25年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業報告につきまして、お願いしたいと思います。

これにつきましては、たくさんあるわけでございますが、報告だけ一括してよろしいですかね。そして、後でご質問いただくようにして、その後、ご承認をいただくようにしたいと思います。

それでは大変ですが、説明をお願いします。

**説明**

社会教育係及び青少年係関係（田中青少年係長）

文化振興室関係（石川主査）

図書館関係（洲永主査）

公民館関係及び主催教室参加者アンケート結果（四宮主査）

社会教育関係事業補助金交付実績関係（近藤主査）

社会教育関係事業補助金交付実績関係【文化振興室】（石川主査）

生涯学習課施設利用状況関係（川名課長補佐）

**(安田議長)**

ありがとうございました。

こういうご報告を頂戴しましたが、なかなか理解しにくいスピードでやっておりますので、どうでしょうか、忌憚のないところで、ご質問を頂戴したいと思います。

それでは大変申し訳ありませんが、私の方から質問というか、逆にお伺いしてよろしいでしょうか。

これらを通じて、例えば、懸念になるようなことが一点ずつでもあったら、逆にお聞かせ願って、それがすぐにどうのこうのではないんですが、そういうことがあったらお聞かせいただきたいと思います。

例えば、文化振興室では何かこのような懸念が1年を通じてありましたか。

**(事務局：石川主査)**

それでは文化振興室から、先ほど、簡単に報告をさせていただきましたが、例えば、伊八の展覧会につきましては、ここ数年、市内で『波の伊八鴨川まちづくり塾』という団体が、まちづくり、地域づくりのために活動していこうとの目的で発足しました。

この展覧会につきましても、その団体と連携しながら、より広い間口を持つような活動をしてきたわけですが、近年、このような地域の歴史とか、文化というのは、観光面などの、地域づくりに非常に重要な意味があるとの認識が広がっております。

それに対して、文化振興室では、どれだけ、そういう意味で活動できたかは、なかなか数値の上では計れないものがありまして、今後、そのような要求がどんどん高ま

ってることが予想されますので、今後の課題としては、地域の歴史や文化財などを活用していきながら、観光面、あるいは地域づくりで貢献していかなければならないことを肌で感じておりますので、いかに応えていけるかが大きな課題になっていると日々感じております。

**（安田議長）**

ありがとうございました。

続きまして、私が質問してはいけないのですが、図書館の新規事業であります、学校への配本事業に関して、その成果はどんなものなのでしょうか。

**（事務局：洲永主査）**

1月に学校図書館の担当の先生と会議をするのですが、その中で出た報告の中では、各学校でも、今まで手に取らなかったような本も教室にあると少しずつ手に取るようになっていくとの報告を受けました。やはり、自分達で本は読んでいるそうなのですが、その本がライトノベルであったり、映画を小説にしたような物でも、もう少し簡単な物であったり、そういった物を読んでいる子が多かったのですが、配本していく中で、名作を入れると、昔から知られているタイトルだったりすると、だんだん手に取る生徒が増えてきたとの報告は受けております。

**（安田議長）**

ありがとうございました。

長谷川先生、どうですか。

**（長谷川委員）**

それでは学校の立場でお話をさせていただきますと、やはり学校図書館にある本というのは、固定化されてしまって、小学校1年生から6年生までが、ずっと同じ本しか見ていないことになるので、そのような時に、巡回等で新しい本や、今までと違った本が来ることによって、読書に対する刺激が増えているのは間違いありません。

ただ、これだけではなくて、学校の方に来ていただいている読書ボランティアの方々の努力と、学校図書館の授業が合わさって、今、徐々にではありますが、子供達の読書に対する環境が変わってきていると思います。

そしてもう一点、これはお願いしたいのですが、文科省の方でも、ただの読み聞かせだけではなく、学習に使える図書館や図書室というのが望まれており、今後、その方向にいくのではないかと思います。要は、今まで、教室での勉強はあるけれど、調べ学習などは、ここのところパソコンで行っているのを、やはり図書室や図書館にある本を使って、調べるとか、そこで学習をすることによって、学びの広がりや深まりを狙っていく方向にありますので、今後、そのような部分で図書館のご協力をいただければ非常に有難いと考えております。

**（安田議長）**

ありがとうございました。

あと、公民館ですけれども、公民館は前から参加する人が固定化されているとか、小さいのと上はいるけれど、その途中がいないという話は前からありますけれども、その辺についてはどうですか。

**（事務局：四宮主査）**

講座の方も工夫しており、なるべく若い子というか、子育てが終わった後の母親とかをターゲットにした講座を、逐次見つけて開講しております。健康ヨガとかエアロビ体操とか革細工などが人気がありまして、そのような講座の受講者には若い方が入っております。

また、主催講座の方も24年度と比べると増えており、参加者もそれに伴い増えておりますが、良い意味での利用者の低年齢化に繋がるよう、講座の内容などを工夫していければと考えております。

**（安田議長）**

ありがとうございました。

どうでしょうか、仲澤さん。

**（仲澤委員）**

彫刻家の稲垣さんですか、館山の。その関係の彫刻が私のところに来たんですけれども、市の方には来ませんでしたか。

**（事務局：石川主査）**

後藤義満の関係ですか。

**（仲澤委員）**

そうです。鴨川市に何箇所かあると言って、私どもの八雲神社にもあると言ってきたんですが、後藤さんの関係ですかね。

**（事務局：石川主査）**

その話はいつ頃の話ですか。

**（仲澤委員）**

去年です。

**（事務局：石川主査）**

去年ですと、千倉の方々を中心にして、後藤義満の本を作って、それはもう出版されたんですけれども、多分、そのことでのご相談ではないかと思いますが。

**（仲澤委員）**

私の所にも出来上がった本は届きましたけれども、市にも届いたのかなと思いますし  
て。

**（事務局：石川主査）**

市の方は、その本の出版について、直接は関係していません。

**（仲澤委員）**

分かりました。

**（安田議長）**

いかがでしょうか。ご質問があれば。

**（石坂委員）**

それでは、社会教育係と青少年係に伺いますが、通年、放課後子ども教室推進事業  
が行われているようですが、次年度、江見地区の統合があると思うのですが、統合後  
も継続してやっていただけるのかという点と、マンモス校と言われている東条であっ  
たり、鴨川であったり、その辺の事業の計画はあるのかを教えていただきたいのです  
が。

**（事務局：蒔苗教育次長）**

何人かから、そのような声をいただいておりますが、来年4月の開校に向かって、  
江見・太海・曾呂小学校がなくなってしまうに当たり、土曜スクールはどうなってし  
まうのかという声が届いておりますが、この土曜スクールの目的は、地域の人達が、  
地域子ども達を育てていくというのが大きな目的でして、そのような面で、来年学  
校がなくなるのははっきりしているのですが、今の江見・太海・曾呂の地域子ども  
達は、その地域で育てるということを念頭に置きますので、当面は、これを存続して  
いく考えですが、将来的には、なにせボランティアの方々が指導者や運営委員をやっ  
ていますので、その方々が将来的に一本化しようよというのであれば、ご相談に乗っ  
て、発展的な解消もないわけではありませんが、当面は存続していくよう考えており  
ます。

**（安田議長）**

土曜スクールについては、大きな中の一つでもありますので、色々と知恵を絞って願  
いしたいと思います。

ほかにございますか。

では、ないようでございますので、報告1の教育委員会生涯学習課事業報告についてを、  
ご承認いただけますでしょうか。

## 『異議なし』の声

### （安田議長）

それでは、ご承認をいただいたということで、報告２の平成２６年度鴨川市教育委員会生涯学習課の事業計画について、説明をお願いしたいと思います。

### ●報告２：平成２６年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業計画について

#### 説明

平成２６年度生涯学習の方針、重点施策、社会教育関係予算関係（川名課長補佐）  
社会教育係及び青少年係関係（鈴木社会教育係長）  
文化振興室関係（石川主査）  
図書館関係（洲永主査）  
公民館関係（四宮主査）  
社会教育関係事業補助金交付計画関係（近藤主査）  
社会教育関係事業補助金交付計画関係【文化振興室】（石川主査）

### （安田議長）

ありがとうございました。

ただ今、平成２６年度生涯学習関係の事業計画について、ご提案を頂戴しましたが、ご質問を頂戴したいと思います。

一点、私の方から質問したいのですが、よろしいでしょうか。

今年度の生涯学習の基本方針の中に、公民館の耐震診断及び耐震補強工事の設計など、社会教育関連施設の充実というのがありますけれども、その辺についてお願いできますか。

### （事務局：石井課長）

公民館の耐震診断及び耐震補強工事の設計についてですが、ご案内のとおり、公民館は市内に１１館ございまして、公民館も、地域住民の避難施設になっております関係上、また、不特定多数の方の利用をいただいております関係上、順次、耐震診断を進めており、平成２４年度から始めて、平成２４年度に中央公民館を行いまして、平成２５年度には天津小湊公民館を行い、今年度は東条公民館を予定しております。

そして、耐震診断の結果、耐震補強が必要であるとの診断結果が出された所につきましては、設計士などと協議させていただく中で、どのような耐震補強工事がベストなのかを検討いたしまして、順次、耐震補強工事も進めていくということで、ちなみに、中央公民館については、１階の数値が若干満たない部分がありましたので、その部分につきましては、補強工事を進めさせていただきたいと考えておりまして、今年度につきましては、東条公民館の耐震診断を進めさせていただくことになります。

また、次年度以降も様々な状況を勘案しまして、順次、計画的に進めていきたいと予定しているところでございます。

**（事務局：野田教育長）**

少し、付け加えますけれども、天津小湊公民館の耐震診断の結果は大丈夫でしたが、雨漏りと老朽化が激しい施設が非常に多くありますので、それらを今後どうしていくのかを市の中で検討して、他地区も老朽化が進んでいますので、本当に耐震診断をするのか、または、学校統合による空き校舎等の活用をする方法もございます。大山みたいな。今後、そういった面で、公民館も施設も統合のような方針も出てくるのかなという状況にございますが、まだその辺は確定していませんが、そのような状況であります。

**（安田議長）**

ありがとうございました。

公民館の統合については、大分前から話がありまして、時々、水面から顔は見せているのですが、なかなか。

公民館は地域の核として、しかも小学校の統合が進んでいますから余計に難しいところがございます、そのような中で、社会教育施設の維持管理という世界で気になるところがありまして、お伺いをしたところでございます。

ついでに、視聴覚教材の充実と書いてありますが、これについては、過去の視聴覚教材とは大分時代が変わっていると思いますが、その辺は、どのような形で充実を考えているのか教えていただければ。

**（事務局：田中係長）**

視聴覚教材の充実でございますが、旧鴨川市の視聴覚センターは、中央公民館の3階にございました。また、旧天津小湊町の視聴覚センターは、天津小湊公民館前の、通称ふるさとシアターの中にございましたが、数年前に課の職員で、中央公民館からすべて運び出しまして、天津小湊のふるさとシアターの方に統合といいますか、すべてを一緒にしまして、現在、管理を行っております。

そして、充実ということですが、実際のところ、現在ではパソコンで資料が取れることもあり、一時はDVDとかビデオ、もっと古くは16ミリを学校の先生方に使っていたのですが、今はパソコンとかDVDで用が足りてしまうということで、現段階では、視聴覚教材の予算は、ほとんど取っていない状況にあります。今年度は、たまたま視聴覚センターに置いてあります、プロジェクターが20数年経ち、壊れてしまいましたので、今年度は、新しいプロジェクターを購入いたし、そのプロジェクターは外に持ち運びができるタイプなので、パソコンに繋いでDVDやビデオが見れるような状態になっております。

その中で、充実と申ししましても、なかなか視聴覚の教材や資料を購入できないのですが、今ある物で、時々、幼稚園の先生や保育園の先生は古いビデオも子ども達に見せたり、学童の先生が借りに来たりしている状況なので、今、数千本のビデオがございますので、それが駄目にならないように管理をしております。現在あるビデオをDVDにダビングしよ

うかとの話も出たのですが、著作権の関係もございますので、現在ある物で利用促進を図りたいことと、今年度は7月20日に親子映画会をふるさとシアターで行いますが、16ミリとDVDとビデオを1本ずつ見せるなどの試みもやっております。

**（安田議長）**

どうしても時代が変わってきますから、良い物も出てくるし、古い物は忘れられてしまう世界もありますので、大変でしょうが、やはり目に訴えるというのは絶対に必要なことです。今後ともよろしく願いできたらと思います。

ほかに、あれば遠慮なく発言を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

**（仲澤委員）**

中央公民館ですが、3階が空いているということで、正式に会議室として使えるのですか。

**（事務局：田中係長）**

中央公民館の3階ですが、耐震診断を行いまして、今後は補強工事の設計を進めてまいりたいと考えております。

3階の視聴覚センターがあった部屋は、今後、簡単に床等の修理をして、今後は何らかの形で利用したいと考えており、今考えているのは、視聴覚センターの前の会議室は何とか使えると思いますが、視聴覚センターの方は、地域の皆さんの防災備蓄倉庫か何かに使えるのかなと考えております。今後、耐震補強工事がうまくいけば、会議室も使えるという形になるとは思いますが、今、トイレも震災の時の揺れでタイルが落ちてしまっており、使えない状況ですので、それは今後の耐震補強工事等の中で考えていきたいと思っています。

**（仲澤委員）**

地区民から、会議室が一杯の時、3階が空いているのではないかとの声がありましたが、トイレが使えないから駄目だよとは言っていますが、よろしくお願いします。

それからもう一点、事業計画の中で、貝渚・川口・大浦地区の史跡とあるんですが、公民館の事業計画の中に。これはまだ具体化はしていないんですか。

**（事務局：四宮主査）**

もう始まっております。

**（仲澤委員）**

旧鴨川の中でも、区長のあるところはこの3地区で、私も大浦地区の区長をやっておりますが、やはり区長がこのようなことを聞かれた時に、そして、このような会議に出いても教えてくれなかったと言われてしまうので。

**（事務局：四宮主査）**

現状では22名の申込者があり、講座として成立していますので、開始されております。

**（仲澤委員）**

福祉協議会も、私が会長で川口と貝渚が副会長で、色々な方面で組織が重複しているので、この内容を知らせて良いのかどうかと思ひまして。

**（事務局：四宮主査）**

広報にも載せて公募して募集しているので、これはすでに公になっております。

**（仲澤委員）**

そうですか。では、皆さんに話をして良いですね。

**（事務局：四宮主査）**

大丈夫です。

**（安田議長）**

ほかに、遠慮なくご質問を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

**（鈴木委員）**

それでは一つだけお伺いしたいと思います。

平成25年度の図書館利用について、マイナス千何百人という数字が出ていますが、それに対して平成26年度はどのような対策というか、そもそも、1900人の減が何を持った減なのかがよく分からなかったのと、それに対して現状維持の59000人ということで目指すのか、従前の6万台の利用に戻していくのか、それを踏まえた平成26年度の計画なのかをお聞かせいただければと思います。

**（安田議長）**

合計人数のことですか。

**（鈴木委員）**

そうです。入館者数です。入館者数が1900人減ってはいるんですが、貸出冊数があり変わっていないとすれば、純粋に図書館に来ている人が減ったということですか？

**（事務局：洲永主査）**

そうです。

**（鈴木委員）**

開館日数は年間何日ですか。

**（事務局：洲永主査）**

294か5くらいです。

**（鈴木委員）**

そうすると一日平均 6 人ないし 7 人が来なくなったということか、いわゆる、事業的なものの減なのか、単純に利用者が減っているのか、どうなんですか。

**（事務局：洲永主査）**

ここ数年、ずっと右肩上がりに来て、事業も拡大を図ってきて、そこが定着というか、落ち着いてきたことが挙げられると思います。貸出冊数については、昨年度から 1 人に対して 5 冊から 7 冊に増やしたことにより、貸出冊数が若干増えつつあるのですが、人数的には増えていないのが現状です。今後、中学生に向けての配本事業もございますので、現在は、小学生の入館も増えてきていますので、それについては、行事の拡大等、学校へのアピールが効いてきているのかと考えておりますので、今後も徐々に増えていけば良いなと考えております。

**（鈴木委員）**

そうすると、来期は 6 万台に戻るであろうと。

**（事務局：洲永主査）**

という見込みを考えてはいます。

**（鈴木委員）**

あと、運営計画の中の中高生とありますけど、高校に対する何かの働きかけは。

**（事務局：洲永主査）**

そこについては、まだ難しくて。

先ほど、渡邊校長先生がいらっしゃいましたけど、この間、図書館で協議会を行いました、今後は高校の方へも入らせていただきたいとお願いをしたところです。まだ、新刊案内と図書館だよりの掲示をお願いしているところで、これからまた学校の図書室との連携を持ちたいと考えております。

**（鈴木委員）**

今、我が校も朝の読書会というのを始めていて、圧倒的な読書量の不足を感じていました、小学校の時は読んでいたのですが、中学校でいきなり読書量が減ってしまい、そのまま高校に来るので、本当に本を読まない状況です。なので、今、時間割を組み替えまして、朝の 10 分とか、読書をやっているんですが、その際に、貸出のインフォメーションがあれば、我が校の生徒にも借りに行きなさいと指導できるので、ぜひお願いしたいと思います。

**（事務局：洲永主査）**

ありがとうございます。今後、またお話しさせていただきたいと思います。

**（安田議長）**

やはり、こういう本が欲しいとか、こういう本を読ませたいとかのトーキングも必要かと思しますので、大変良い応援団をいただきましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

立野委員さん、いかがですか。

**（立野委員）**

昔は本の贈り物の引換券を、今私は主任児童委員をやっておりますので、その引換券をお配りしていましたが、平成25年度の回収率が61%ですが、大分取りに行ってくださいと伝えているのですが、なかなかやっぱり引換え率が上がらないのでしょうか。

**（事務局：洲永主査）**

このパーセンテージの出し方が、区切ることがはっきりできないものですから、全体的な数字として61%とうたってはいるのですが、最初のうちの周知が難しかったので、だんだん増えてきての61%になっているので、多分、今年度も少し上がってくると思ひますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

**（安田議長）**

いかがでしょうか。

私どもはこの事業計画に対しての批判者もありますが、大きな応援団でもありますので、そのような2つの面で見ても、ご承認を頂戴できますでしょうか。

**『はい』の声**

**（安田議長）**

それでは、ご承認を頂戴しましたので、平成26年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業計画を承認いたします。

続きまして、本日は大変難しい話ですが、平成25年度の鴨川市教育行政評価報告書について審議をすることになっています。これにつきまして、説明をお願いします。

**5・議件**

**●議件1：平成25年度鴨川市教育行政評価報告書（案）について**

**説明**

評価導入の経緯と審議の進め方（川名課長補佐）

**（安田議長）**

今、進め方、また評価についての話がございましたが、その方法でお進めさせていただ

いてよろしいでしょうか？

### 『はい』の声

(安田議長)

それでは、それに基づいて進めさせていただきます。

### 説明

多彩な学習活動の促進（高橋社会教育主事）

(安田議長)

ありがとうございました。続けて提案、報告させていただいてよろしいですか。

### 『はい』の声

(安田議長)

それでは、時間もありますから、続けてお願いしたいと思います。

### 説明

青少年の健全育成（高橋社会教育主事）

市民文化の振興（高橋社会教育主事）

歴史・文化の保存と活用（高橋社会教育主事）

(安田議長)

それでは、会議を進めさせていただきますが、内容をすべて議事録に載せることも難しいので、ここからは暫時休憩として、自由にご意見を頂戴し、最後にそれらを集約していきたいと思っておりますが、よろしいですか。

それでは暫時休憩といたします。

(安田議長)

それでは会議に戻ります。

ただ今、ご提案を頂戴しました、鴨川市の行政評価報告書につきまして、全体的には良とするということで、皆さんの賛否を採りたいと思いますが、いかがでしょうか。

### 『はい』の声

(安田議長)

それでは、ご承認をいただいたということで、私の議長の任は解かせていただきます。

最後にはお願いですが、先ほど、鈴木さんからありましたとおり、11月8日に安房地区の社会教育振興大会が鴨川市を会場に行われます。4地区が順番に会場を受け持ち、その内容についても進めていくということでございますので、今年度は鴨川ということで、大まかな計画については先ほどのご報告のとおりにさせていただきますが、皆様方の当日のご出席は当然ですけれど、それまでにもご協力を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**(事務局：川名課長補佐)**

それでは次第の6、連絡・その他でございますが、皆様方から何かございますでしょうか。事務局の方はよろしいですか。

それでは以上持ちまして、平成26年度鴨川市社会教育委員会議の全日程を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

## **7・閉会**

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をいたしました。

平成26年10月8日

会議録署名人

鴨川市社会教育委員 鈴木 朝 雄